砂川駅前地区整備基本構想（案）

令和２年２月

砂川市

目　次

第1章　はじめに

（１）　本構想の目的 3
（２）　砂川市の概要 4

第2章　砂川駅周辺の現況及び課題の整理

（１）　中心市街地に位置する砂川駅周辺の現状と課題 11
（２）　中心市街地に位置する商店街の現状について 12
（３）　砂川駅前地区の現状..... 14

第3章　砂川駅前地区整備に対する市民ニーズの把握

（１）　「(旧)パーラーグランド」周辺の駅前地区整備に関する提言書..... 16
（２）　砂川駅前地区整備に関するワークショップ 18
（３）　市民アンケート 21
（４）　砂川高校生アンケート..... 23
（５）　職員アンケート 24
（６）　課題及び市民ニーズの整理と
整備方針（基本的方向性）へのキーワード 26

第4章　砂川駅前地区の整備方針

（１）　駅前地区整備の基本的な方向性 27

第5章　事業化の方向性と今後のスケジュール等

（１）　事業手法の検討 32
（２）　基本構想実現に向けたスケジュール..... 33

第1章 はじめに

（１） 本構想の目的

ＪＲ砂川駅周辺に位置する国道 12 号に面した「旧パーラーグランド」周辺（以下、「砂川駅前地区」という）は、砂川市のまちの顔となる場所であり、中心市街地の活性化の中核となる位置にあります。

砂川駅前地区の周辺には、市庁舎や市立病院、砂川市地域交流センター「ゆう」などの都市機能が集積しており、商店街をはじめこれらの施設との連携を図りながら、多くの市民、観光客が交流、滞留する砂川駅前地区の形成が求められています。

また、平成 29 年 3 月には、砂川市庁舎建設基本構想（答申）にあたり、砂川市庁舎建設検討審議会から、砂川駅前地区における行政機能も含めた公共・公益施設の整備などによる活性化に資する利活用の検討について付帯意見が出されました。

以上を踏まえ、本構想は、まちなかの魅力を高め、賑わいを創出するための拠点として、将来的な砂川駅前地区整備のため、整備方針と事業化の方向性を示すことを目的としています。

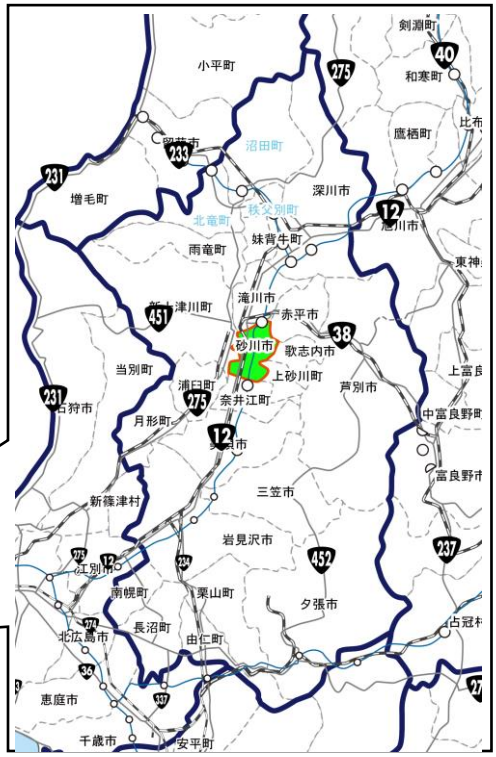
（２） 砂川市の概要

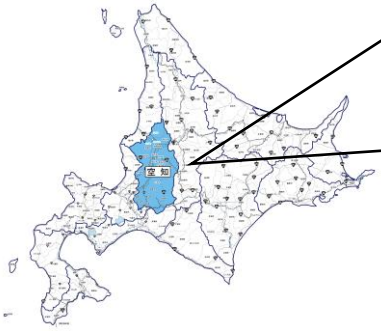
① 砂川市の位置

本市は、札幌市と旭川市のほぼ中間に位置し、東は夕張山系の丘陵地帯を境に赤平市、歌志内市、上砂川町に接し、西は石狩川を挟んで新十津川町に、北は空知川を挟んで滝川市に、南は奈井江町に接しています。

その市域は、東西に約 10.5 キロメートル、南北に約 12.7 キロメートル、総面積は 78.68 平方キロメートル（7,868ha）で、市街中心部は、平地地帯と石狩川の間に南北に細長く展開しています。

また、流域面積全国２位の石狩川と、石狩川の支流の中で最も長く広い流域面積を持つ空知川の合流地点南部に位置し、水資源に恵まれています。





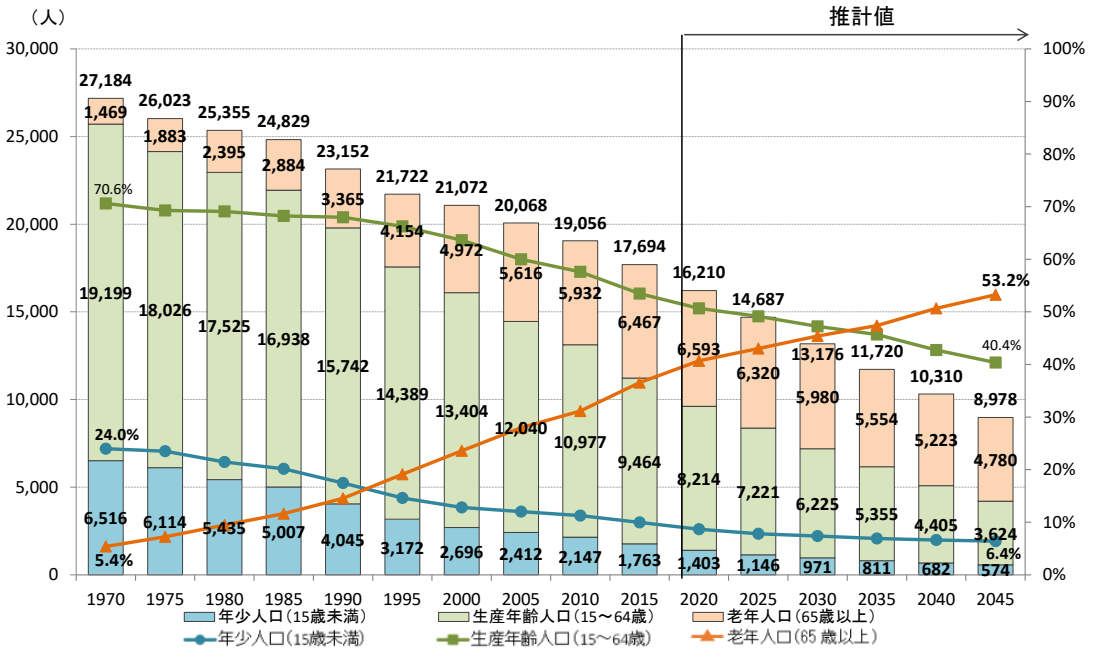
② 砂川市の特色

本市に所在する砂川市立病院は、中空知地域の中核病院として地域センター病院に指定され、北海道災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センターなどの認定を受けており、急性期医療をはじめあらゆる疾患に対応できる機能が集約されています。外来の 1 日平均患者数が約 1000 名であり、また、自治体病院として小児・精神・周産期・災害医療を担うための機能を有しており、ドクターヘリによる患者受け入れや搬送のためのヘリポートを設置しているなど、医療のまちとして、住みやすい、住んで良かったと思えるまちづくりを進めています。

③　人口及び世帯数の状況

砂川市の令和元年(2019 年)12 月末時点の人口は 16,848 人であり、平成 27 年(2015 年)に比し 846 人減少（▲4.8%）しており、市制施行翌年の昭和 34 年(1959 年)をピークに減り続けてきました。国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成 30（2018）年推計）」によれば、2045 年には砂川市の人口は 2015 年比からほぼ半減すると推計されています。

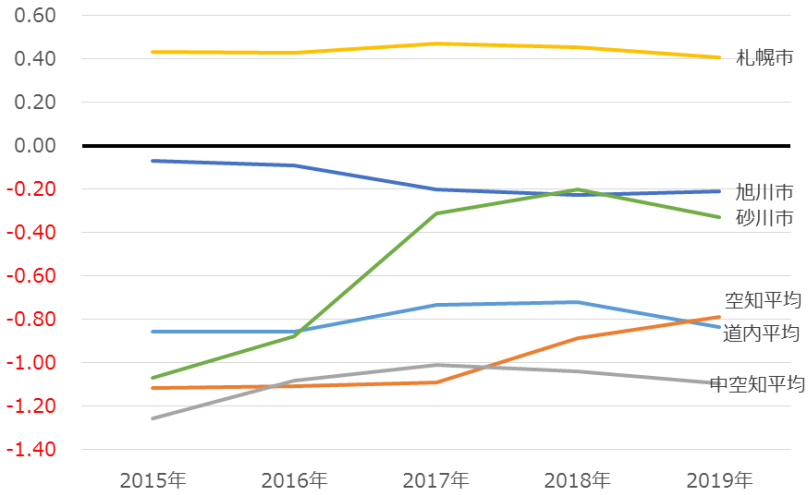
中空知地域（芦別市、赤平市、滝川市、砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町）全体で見ても、2015 年で 10 万人を超えていた地域が、2045 年には半減すると推計されています。



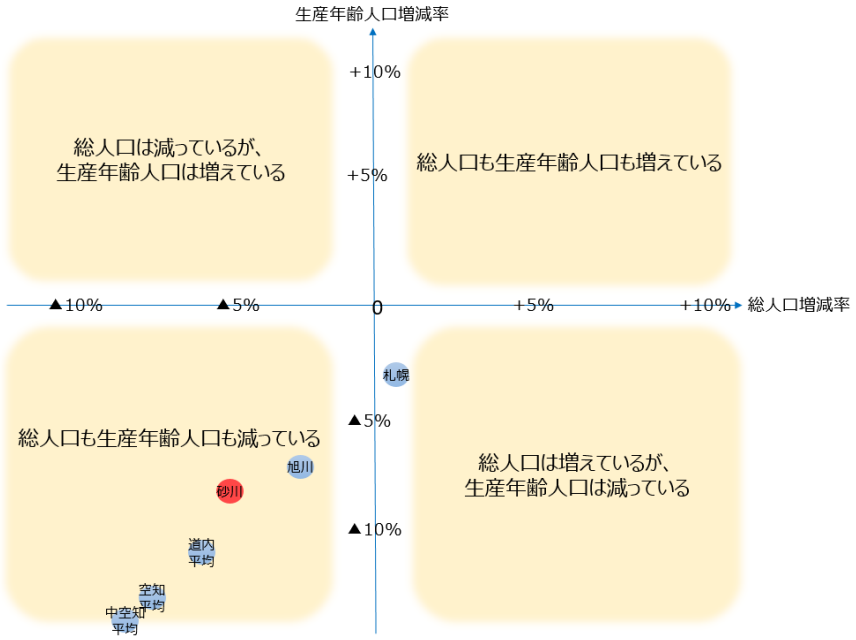
図：年齢３区分別人口推移と将来推計資料：平成 27 年度国勢調査、
国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 30 年推計）」

2019 年 1 月 1 日時点（2018.1 月～12 月）の転入者が転出者を上回る社会増については、道内市町村で 21 市町村であった。砂川市は、転入者－転出者が▲57 人で、転入者よりも転出者が上回っている社会減の状態である。社会増減数を人口で除した社会増減率に着目すると、砂川市は▲0.33%であり、道内市町村の増減率平均、空知管内市町村の増減率平均よりは上回っている。

また、自然増減も含めた総人口で 2015 年と 2019 年を比較すると、砂川市は、▲976 人(▲5.4%)で総人口が減少している。一方、生産年齢人口（15～64 歳）に着目すると、道内で増加した市町村は無かった。(砂川市▲8.7%)



図：過去 5 年間における人口の社会増減率の推移
資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数　※日本人のみ



図：総人口増減率と生産年齢人口増減率に関する 2019 年と 2015 年の比較
資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数　※日本人のみ

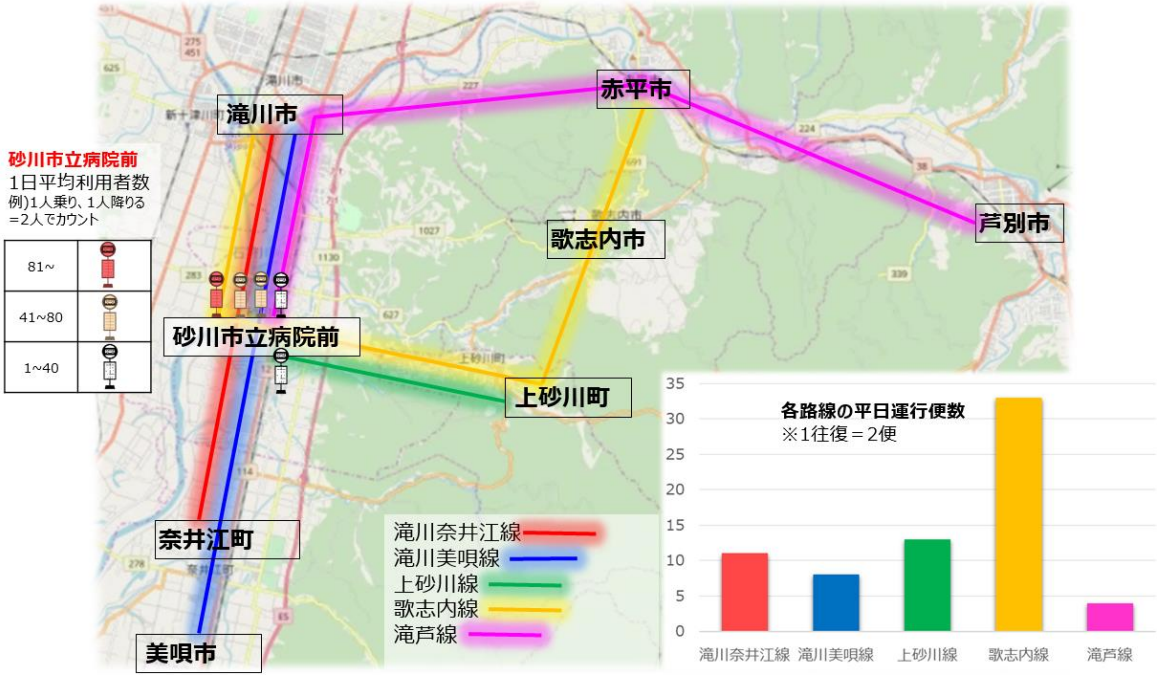
④　交通網（道路・鉄道）

広域道路網としては、札幌と旭川を結ぶ幹線道路である国道 12 号と道央自動車道が市域を南北に縦貫しており、市内の IC としては砂川ハイウェイオアシスに砂川 SA スマート IC が設置されています（奈井江砂川 IC は奈井江町に位置）。国道 12 号は、本市区間で約 2 万台／日の交通量があり、本市は日本一長い直線道路区間に含まれています。

鉄道については、国道 12 号と並走するように JR 函館本線が市域を南北に縦貫しており、市内には豊沼駅と砂川駅があります。5 時から 23 時までの間で 1 時間あたり 2 本程度の運行があり、朝と夕方に通勤・通学、日中に仕事上の用務や病院への通院、買い物を目的とする利用者が多く、砂川駅では平均約 1,300 人／日の乗降客数があります。

図：砂川市の主要交通

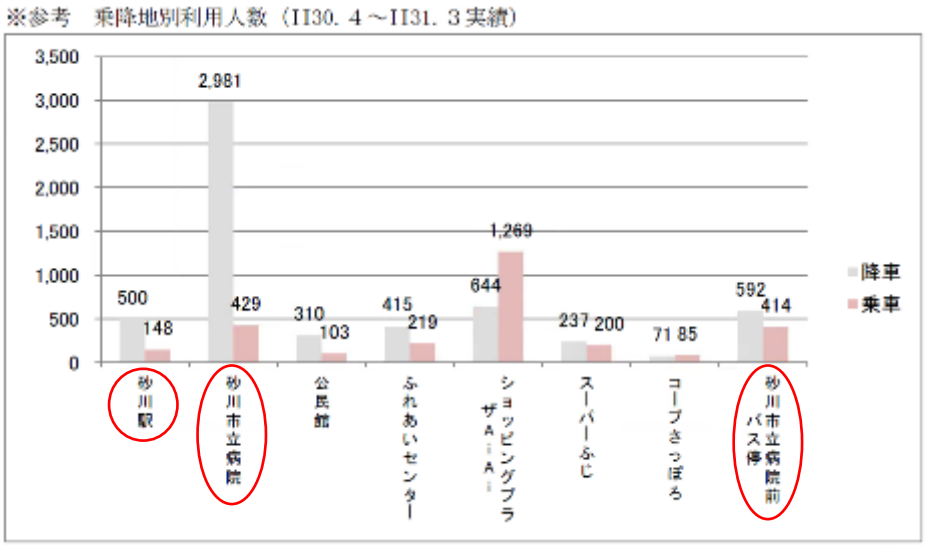
また、札幌と滝川を結ぶ都市間高速バスや、主に近隣市町村の人が通勤通学や日常生活で利用する路線バスが市立病院前バス停を拠点として運行しており、路線バスの利用者だけでも、平均約 300 人／日の乗降があります。



図：砂川市立病院前バス停に発着するバス路線図

さらに、砂川市では、予約により自宅とまちなか乗降地の間をドア・ツー・ドアで乗合タクシーを運行しています。

砂川駅、砂川市立病院、砂川市立病院前バス停の乗降地では、平均約 13 人／日の方が市内中心部において乗降されています。



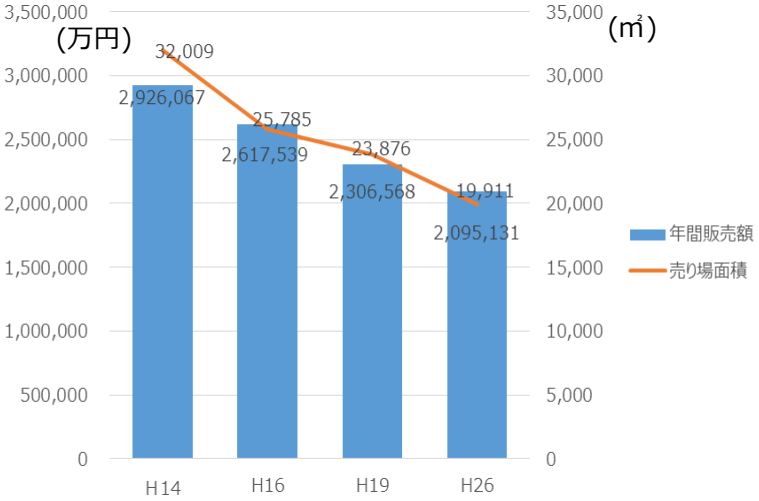
図：予約型乗合タクシーの乗降地別利用人数

⑤　産業の状況

本市の産業は、かつて地理的利便性から河川を利用した木材の流送や貯木が行われ、周辺地域の炭鉱から産出された石炭の積み出しや、東洋一の肥料工場として農業を支える肥料の生産拠点として発展してきました。その後、エネルギー政策の転換に伴う企業の合理化などにより、人口減少の影響を受けてきましたが、今では「卸売業、小売業」「建設業」「製造業」で付加価値額（企業等の生産活動によって新たに生み出された価値）の半分以上を占め、主要産業となっています。

中でも、本市は、国道 12 号を中心に菓子店が集積していることを背景に、官民一体となって「すながわスイートロード」として、まちの魅力向上とともに、域外への PR を行っています。

一方、商業統計調査によれば、小売業における 2014 年時点の年間販売額は 2,095,131 万円、売場面積は 19,911 ㎡となっており、これまでの推移を見ると、両者とも減少を続けています。



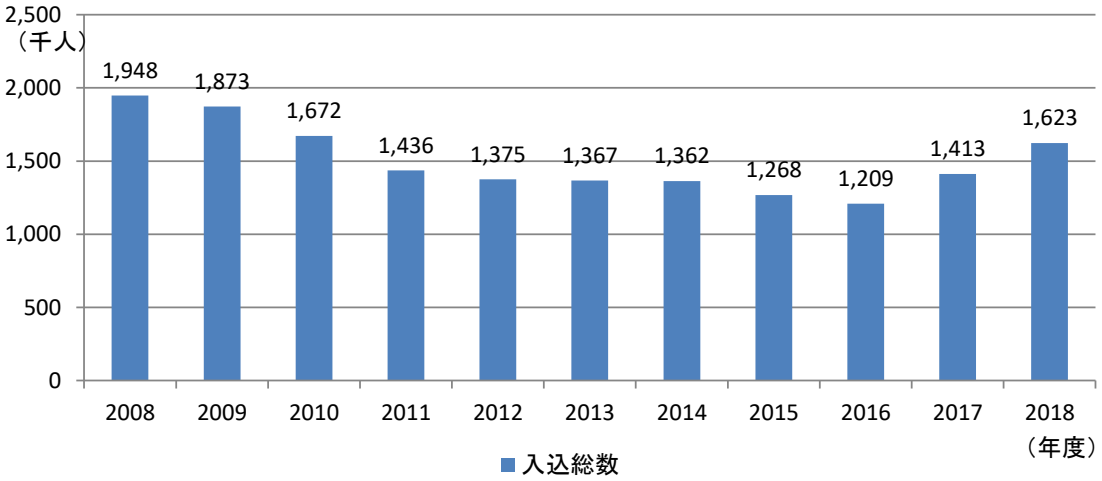
図：小売業における年間商品販売額及び売場面積の推移
資料：商業統計調査

大規模店舗は、国道 12 号沿いを中心に立地しており、最寄品及び買回り品の一部は市内で確保できる状況になっています。

図：主な大規模店舗とその立地状況

⑥　観光の状況

観光入込客数は、砂川ハイウェイオアシス館がリニューアルされた 2017 年を境に V 字回復しており、2018 年時点では 1,623 千人となっています。



図：観光入込客数の推移資料　資料：北海道観光入込客数調査（北海道庁）

主な観光資源施設としては、「砂川ハイウェイオアシス館」や、隣接する「北海道子どもの国」があります。国道 12 号沿いに位置する市街地においては、「すながわスイートロード」として域外へ PR していることもあり、主に菓子店やカフェ等に観光客が訪れています。

観光客数が多い一方で、観光客のほとんどが日帰りであり、宿泊客は全体の 2%に満たない状況であるため、体験型や滞在型観光等の推進によって、観光の経済力を高めるポテンシャルがあります。

第2章 砂川駅周辺の現況及び課題の整理

（１） 中心市街地に位置する砂川駅周辺の現状と課題

砂川駅周辺には、JR やバス等の交通機関のほか、金融機関や宿泊施設が集積しているとともに、スーパーが立地しています。これまで総合計画及び都市計画マスタープラン（巻末参照）に基づき、ＪＲ砂川駅周辺で地域交流センター「ゆう」の建設や市立病院の改築を行うことにより、コンパクトで歩きやすく、市民にとって暮らしやすいまちづくりを実現してきました。また、平成 29 年度からは国道 12 号の無電柱化工事も進められています。

一方で、次期総合計画策定に係る「第 7 期総合計画市民意識調査(市民アンケート)」によれば、これまでのまちづくりに対する市民の満足度として最も満足度が低いものが「商店街の活性化と中心市街地のにぎわい」という結果となっており、市民にとっては中心市街地の活性化が図られていないという認識であることから、主に経済活力向上の観点から中心市街地の活性化が求められています。

本市では、この課題について中長期的な対応を図る一方で、既存商業エリアにある旧パーラーグランド周辺（＝砂川駅前地区）は“まちなか中心部エリア”のまさに中心であり、まちの顔としても重要な地区であるため、早い段階での取り組みが期待されている状況にあります。

表：「第 6 期総合計画で進めてきた砂川市のまちづくりに対する満足度
（「砂川市 第 7 期総合計画 市民意識調査 結果報告書」より抜粋）」

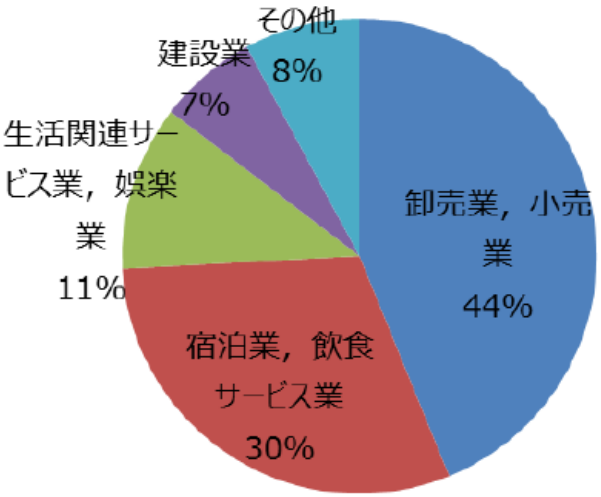
順位	満足度上位２０項目				順位	満足度下位２０項目			
	項目	ﾎﾟｲﾝﾄ	H28			項目	ﾎﾟｲﾝﾄ	H28	
			順位	ﾎﾟｲﾝﾄ				順位	ﾎﾟｲﾝﾄ
1	消防・救急体制の充実	3.83	2	3.73	1	商店街の活性化と中心市街地のにぎわい	2.34	1	2.13
2	ごみの減量化やリサイクル	3.76	3	3.71	2	雇用の確保・拡大と労働環境の充実	2.63	2	2.37
3	良質な水道水の安定供給	3.67	4	3.70	3	空き家・空き地対策	2.65	－	－

※ポイントは、5 段階評価で、1(満足度低い)～5(満足度高い)

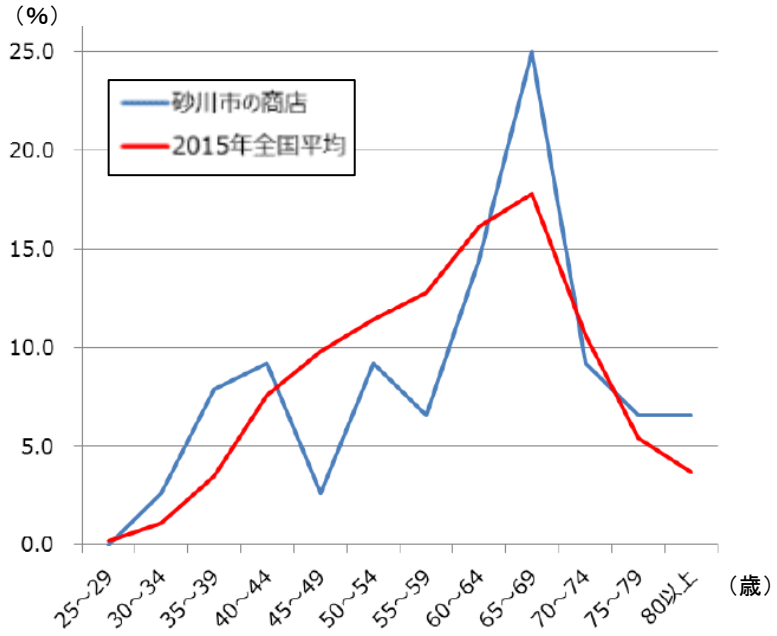
図：砂川駅周辺の現況写真

（２） 中心市街地に位置する商店街の現状について

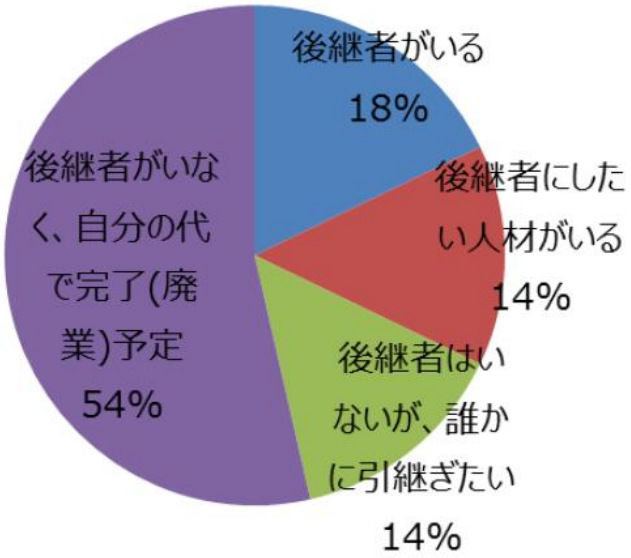
当市において、協同して経済事業を行う商店会組織である砂川市商店会連合会には、７商店会（トマト商店会、駅前商店会、中央市場、正和商店会、柳通り商店会、共栄商店会、朝日商店会）が加盟しています。商圏人口の減少や消費者嗜好の多様化といった、商店街を取り巻く環境が全国的にも変わってきている中、平成 30 年度に行われた「砂川商店会連合会アンケート調査」によれば、経営者の半数以上が 60 歳以上であり、50 歳以上の商店のうち約半分が後継者不足によって廃業予定となっており、厳しい結果となりました。



図：商店の業種について（「砂川市商店会連合会アンケート調査」より）



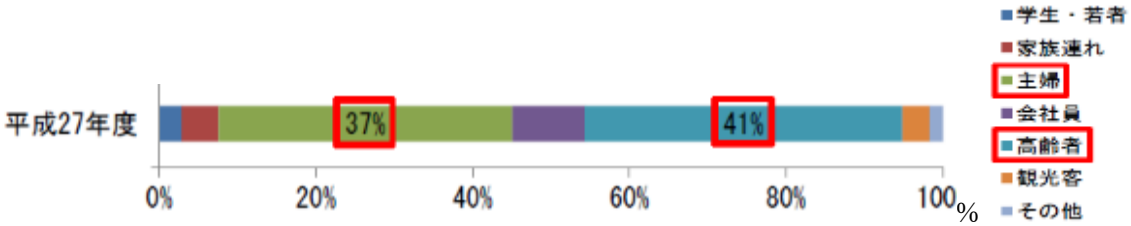
図：経営者の年齢について（「砂川市商店会連合会アンケート調査）より）



図：後継者の有無について（「砂川市商店会連合会アンケート調査」より）

また、「新たな商店街政策の在り方検討会中間取りまとめ」（経済産業省）によれば、「商店街への最も多い来街者層は、主婦と高齢者である」とされ、消費行動の変化と人の流れの変化に合わせ「商店街が果たすべき役割も変化してきており、今の商店街をかつての商店街に戻すことを考えるのではなく、商店街を利用する新しい意味をつくることが必要である」と、方向性が示されています。

具体的には、商店街が主体的であることを前提として、主に①コミュニケーションをつくる場として新しい価値を与える、②地域の商機能はどうあるべきか、商店街はどうあるべきかについて、地域のなかで合意形成をする、③差別化された商品・サービス提供を行うなど、行きたくなる魅力ある個店の立地が不可欠である、等という内容で、民間主導のプロジェクトを行政が支援する形で成功を収めている例が多くなっています。



図：商店街を訪れる来街者層

資料：商店街実態調査（経済産業省）

（３） 砂川駅前地区の現状

砂川駅周辺において、特に砂川駅前地区は、地域交流センター「ゆう」から砂川駅を経て、市立病院・市庁舎までを結ぶ東西軸と国道 12 号の交差する中心市街地のまさに中心に立地しながら、現在は空き店舗や駐車場が存在し、健全な土地利用がなされていません。

平成 29 年 3 月の砂川市庁舎建設基本構想（答申）における砂川市庁舎建設検討審議会からの付帯意見や、にぎわいのあるまちづくり協議会（事務局：砂川商工会議所）からの提言書等を踏まえ、まちなかの活性化に寄与する拠点施設整備を見据え、令和元年 6 月に本市が土地と建物を取得しました。

① 都市計画

地域地区	商業地域
容積率	400%
建蔽率	80%

② 敷地概要

敷地位置	東側敷地	西側敷地
所在	西 1 条北 2 丁目	西 2 条北 2 丁目
地番	7 番、8 番、9 番、10 番、11 番、12 番、13 番 1、14 番 1、15 番 1、16 番（10 筆）	1 番 18（1 筆）
地目	宅地	宅地
地積	3,024.75 ㎡	1,779.82 ㎡
所有者	砂川市	砂川市

③ 位置図

④　既存建物情報

建物名	旧永大ビル	SuBACo	旧パーラーグランド
所在	西 1 条北 2 丁目 11 番地	西 1 条北 2 丁目 13 番地、14 番地、15 番地、11 番地	西 1 条北 2 丁目 16 番地、13 番地 2、14 番地 2、15 番地 2、17 番地、18 番地、19 番地、21 番地
家屋番号	11 番	13 番	16 番の 2
階数	地上 3 階、地下 1 階	地上 3 階	地上 3 階、地下 1 階
種別	店舗、倉庫	店舗、事務所	店舗、居宅
構造	鉄筋コンクリート造、鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造、鉄筋コンクリート造
延面積	1,050.60 ㎡	213.06 ㎡	1,623.97 ㎡

図：砂川駅前地区の現況写真

第3章 砂川駅前地区整備に対する市民ニーズの把握

（１） 「(旧)パーラーグランド」周辺の駅前地区整備に関する提言書

平成 31 年 3 月 14 日付で砂川商工会議所及びにぎわいのある街づくり協議会の連名にて、「『(旧)パーラーグランド』周辺の駅前地区整備に関する提言書」が提出されました。

その中で、以下の通りコンセプトや機能について提言されています。

① コンセプト

「(旧)パーラーグランド」周辺に整備すべき施設は、まちの「顔」というべき場所であることから、「人が行き交い、にぎわいあふれるまちづくり」の実現に向けた中核施設として、まち・ひと・活動を「つなぐ」複合施設とします。幅広い年齢層、観光客が様々な目的で訪れ、人と人をつなぎ、さらにはまちへとつなぎます。

② 求められる機能について

○公共・公益機関の集約・連携

地域交流センター、市立病院、新市庁舎に集った人々の回遊性を図るには、多くの市民及び観光客が立ち寄り、にぎわいを創出させる必要があることから、以下の公共・公益機関の集約した中で、それぞれが持つ機能の連携を図ることにより、にぎわいの創出につながるものと考えます。

(ア)商工会議所 (イ)観光協会 (ウ)SuBACo (エ)金融機関

③ 多くの市民、観光客が気軽に立ち寄れるよう施設の利便性を高める機能について

1. 市民及び観光客が気軽に立ち寄り休憩できるスペースの設置
2. チャレンジショップ、臨時販売コーナー等の出店に際し、多様なニーズに対応可能とする機能を備えたスペースの設置
3. 子育て環境改善に配慮した機能（一時預かり室、授乳室等）及び季節や天候に左右されない親子で遊べるスペースの設置
4. キャレルディスク（読書や学習ができる個別スペース）が設置されたスペースの設置
5. 各種証明書等を発行する行政機能の一部配置
6. 気軽に受けることのできる医療相談（随時開催）スペースの設置

7.　自由度が高く、室内・外に配置されたイベント広場の設置

8.　誰もが駐車しやすいスペースを確保した駐車場の設置

④　協議会として今後期待する機能について

将来的に当該施設に人が集い、にぎわいが創出されたのち、民間の経済活動施設（健康増進施設（フィットネススポーツジム、生活機能回復訓練施設、学習塾等））が参入することを期待し、その場合に備えたスペースの設置が必要と考えます。

（２） 砂川駅前地区整備に関するワークショップ

砂川駅周辺における賑わい創出に向け、市民及び市外観光客がどのような施設・設備等を望んでいるのか意見交換を行うため、市民を対象としたワークショップを開催しました。

ワークショップの概要は以下の通りです。

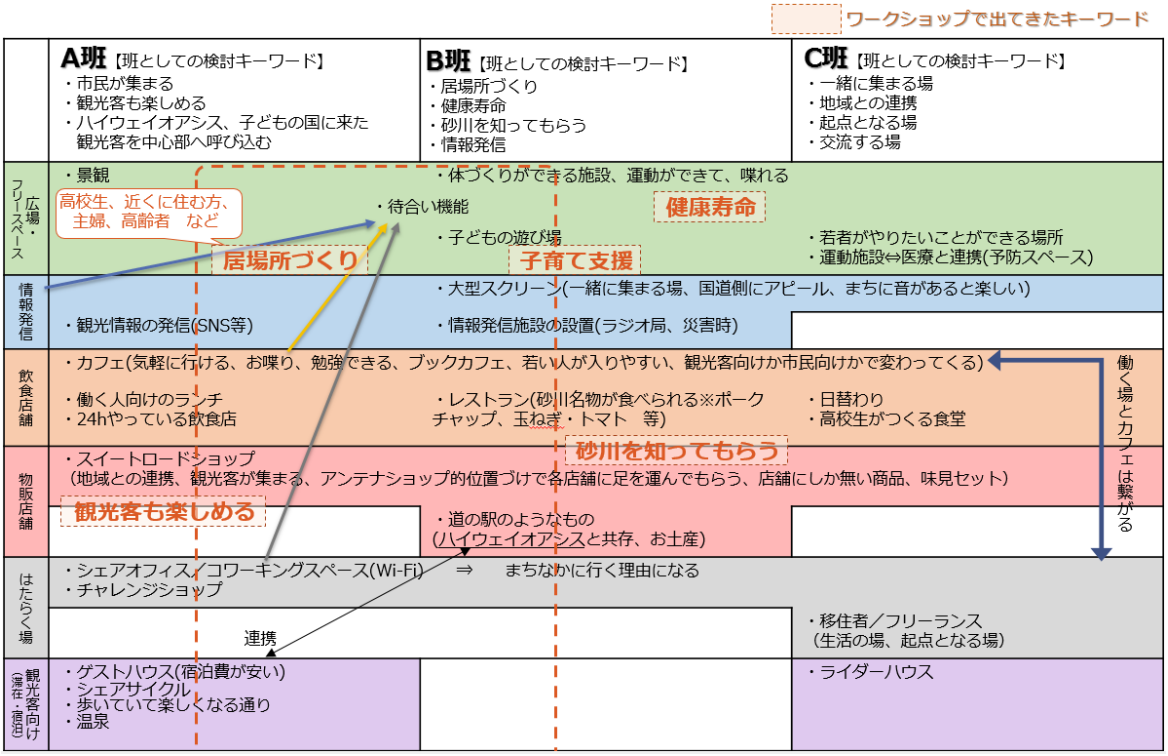
	開催日時	場所	参加人数	内容
第１回	令和元年９月26日 18：00～20：00	砂川市地域交流センターゆう	市民17名 傍聴者４名 砂川市３名 ㈱ドーコン６名	・駅前地区にどのような施設があれば、賑わいが創出するか ・駅前地区で目指す“賑わい”の姿とは？
第２回	令和元年10月16日 18：00～20：00	砂川市地域交流センターゆう	市民17名 傍聴者５名 砂川市３名 ㈱ドーコン４名	・カードを使ったグループディスカッション ・24時間物語ゲーム
第３回	令和元年12月11日 18：00～19：00	砂川市地域交流センターゆう	市民19名 傍聴者５名 砂川市３名 ㈱ドーコン３名	・基本構想に盛り込むべき内容の説明、質疑応答

第1～2回は17名を３グループに分け、同じグループにて継続的な議論を行い、その結果、第１回及び第２回のワークショップでは以下のような意見が提示されました。

① 第１回ワークショップ

第１回ワークショップでは、「駅前地区にどのような施設があれば賑わいが創出するか」「駅前地区で目指す“賑わい”の姿とは？」というテーマで、事前に提出いただいたアンケートを元に駅前に賑わいを創出するための施設案について、各自の想いとしてそれぞれ投票いただき、その結果を元に意見交換をしていただきました。投票では、「カフェ」「コワーキングスペース※」「バス待ちスペース」「スイートロードショップ」に票が集まるとともに、各班共通して「大型スクリーン」「シェアオフィス」「ゲストハウス・宿泊施設」「状況に応じて変えられる施設」にも投票がありました。

３班に分かれてのグループディスカッションでは、それぞれ投票した理由について「若い人が入りやすいカフェ」「まちなかに行く理由としてのコワーキングスペース」などの意見があり、議論の深掘りがなされました。特に、「はたらく場とカフェは繋がる」といった機能の組み合わせを提案する意見のほか、「居場所づくり」「子育て支援」「健康寿命」「砂川を知ってもらう」「観光客も楽しめる」といったキーワードが出されました。



図：第１回ワークショップでの意見まとめ

※コワーキングスペース…共同で働く場所のこと。

② 第２回ワークショップ

第２回ワークショップでは、施設構成案の集約化と、利用シーンの想定を目的に、グループディスカッションを行いました。まず、市民アンケート等を踏まえ、賑わい創出に寄与する機能について各班の意見をそれぞれ 5 枚のカードに集約した上で、その施設において一日に起きるであろう事象について意見交換をしていただき、市民が自由に使える「居場所」と観光客等に向けて「砂川を PR する施設」、誰もが使える「まちなかに賑わいを生む施設」といった意見が多く出されました。

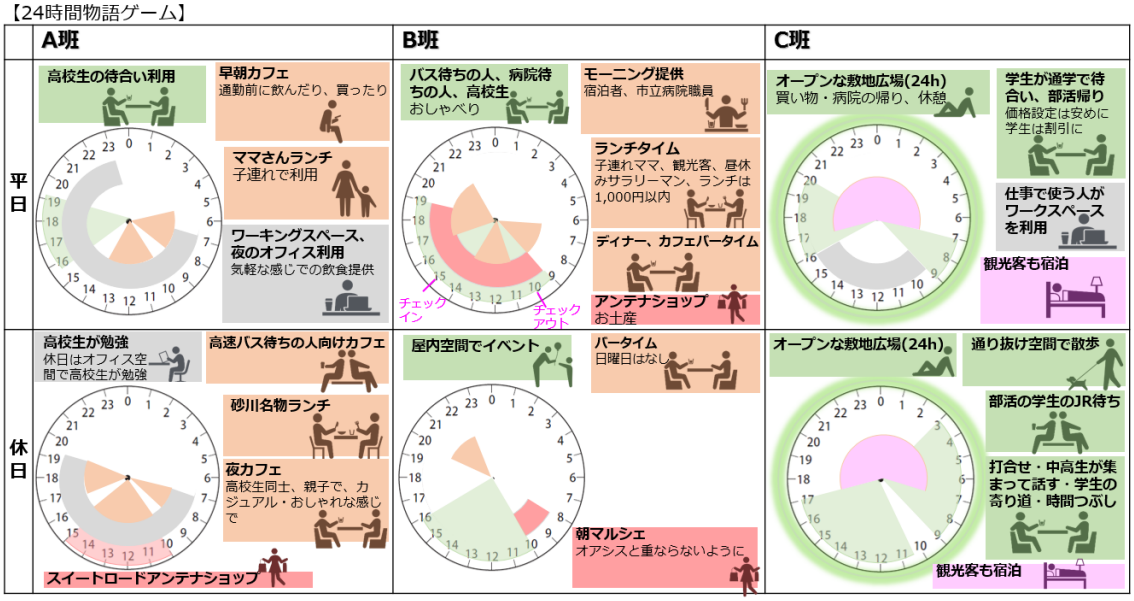
※赤字は、それぞれの班が特に重要と考える機能
※［　　］は、補足として出されたご意見

【カードを使ったグループディスカッション】

	A班	B班	C班
広場・フリースペース	バスやJRの待合い、友人とのおしゃべりや待ち合わせなど自由に使える空間・カフェ ［居場所づくり→ふれあい、繋がり→おしゃれ感が大事］	バスやJRの待合い、友人とのおしゃべりや待ち合わせなど自由に使える空間 ［長くて1時間の待ち時間］	バスやJRの待合い、友人とのおしゃべりや待ち合わせなど自由に使える空間
	季節や天候に関係なく小さい子どもたちが遊べる屋内空間［一時的な子どもの預かり、カフェから見守れる］		
			マルシェやイベント、ライブなど多様に使える屋外広場 ［公園があるまちとしての顔づくり(木立) 子どもが遊べるスペースと大人が活動するスペース(運動ジム)］
情報発信		地域のイベント等の市民向け情報や災害情報を提供する情報発信施設 ［大型スクリーン、ラジオ局のサテライトスタジオ、］	地域のイベント等の市民向け情報や災害情報を提供する情報発信施設 ［市民向けも観光客向けも］
飲食店舗	砂川名物を食べられたり、日替わりメニューなどもあるレストラン・カフェ［普段使い］		砂川名物が食べることができたり、日替わりメニューなどもある食堂・レストラン ［スイートロードのスイーツが食べられるカフェレストラン］
		仕事の前後や買い物の合間に気軽に入れて、仕事や勉強、読書ができるカフェ［気軽さ重視!］	
物販店舗	スイートロードの商品が一堂に集まり、各店舗へも波及するアンテナショップ［砂川を深く知って欲しい まずは12号通過者から］	スイートロードの商品が一堂に集まり、各店舗へも波及するアンテナショップ ［家族はじめ市民、観光客も楽しめる］	
はたらく場	まちなかで仕事や打合せができるワークスペースやオフィス空間		
観光客向け(滞在・宿泊)		砂川にゆっくり滞在し、まちなかの魅力を知ってもらうための宿泊施設	砂川にゆっくり滞在し、まちなかの魅力を知ってもらうための宿泊施設 ［コンテナハウス、ミニマムなもの］

図：カードを使ったグループディスカッションまとめ（第 2 回ワークショップ）

【24時間物語ゲーム】



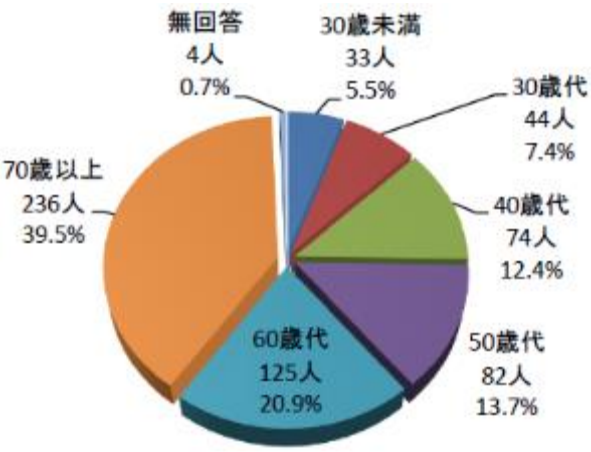
図：24 時間物語ゲームまとめ（第 2 回ワークショップ）

（3） 市民アンケート

令和３（2021）年度から 10 年間のまちづくりの指針となる「砂川市第７期総合計画」策定にあたり、市民の皆様のまちづくりに対する意見や考えなどを伺い、計画づくりの参考とするためにアンケートを実施しました。調査概要は次のとおりであり、アンケート内容には、中心市街地を訪問する目的や活性化についての方策を問うものが含まれています。

項目	内容
対象	令和元年５月１日現在、砂川市に居住する満 18 歳以上の市民 ※住民基本台帳登録者から年代別人口構成比に応じた割当数を無作為抽出
配布・回収	配布数：1,500 通 回収数： 598 通 回収率： 39.9%
実施日	令和元年６月 14 日（金） ～7 月 12 日（金） ※最終締切７月 16 日
アンケート内容	回答者の属性／砂川市のイメージ／砂川市の住み心地／砂川市への愛着／定住意向／土地利用／まちづくりの満足度 重要度／景観、緑化・公園／社会問題への対応（人口減少、少子化、高齢化）／砂川市の将来像／産業について／中心市街地について／道路交通について／砂川市がめざすまちの姿（自由回答）／市民参加・地域活動について／今後の砂川市のまちづくりに対する提案や意見（自由回答）

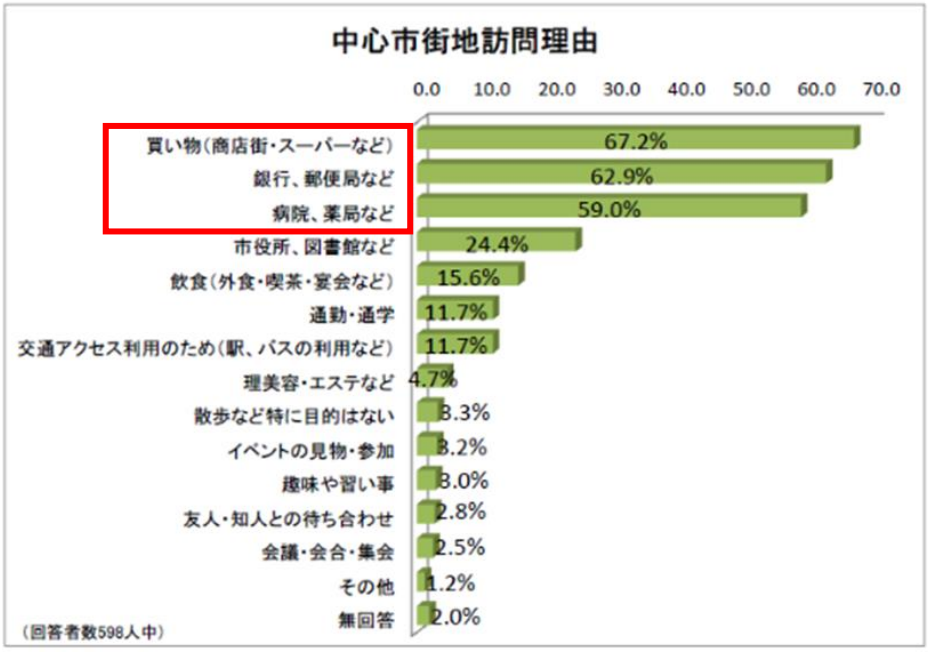
年代	抽出数	回収数
20 歳代(18～19 歳含む)	161	33
30 歳代	151	44
40 歳代	207	74
50 歳代	211	82
60 歳代	268	125
70 歳以上	502	236
無回答	-	4
合計	1,500	598



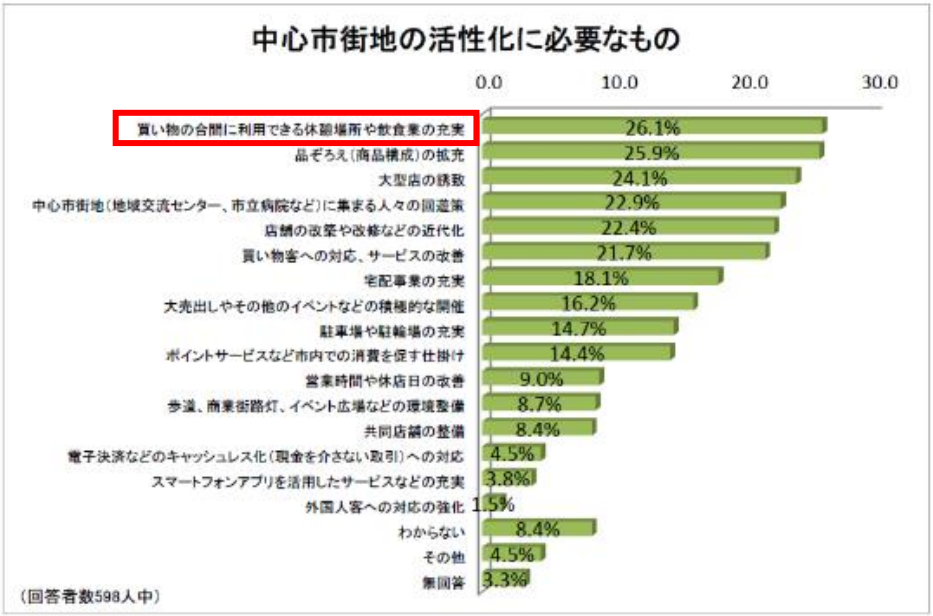
回答者の属性

その結果、中心市街地を訪れる理由については、「買い物（商店街・スーパーなど）」が最も多く、続いて、「銀行・郵便局」「病院、薬局」という結果になりました。

中心市街地の活性化に必要なものとしては、「買い物の合間に利用できる休憩場所や飲食業の充実」を求める声が多いという結果が得られました。



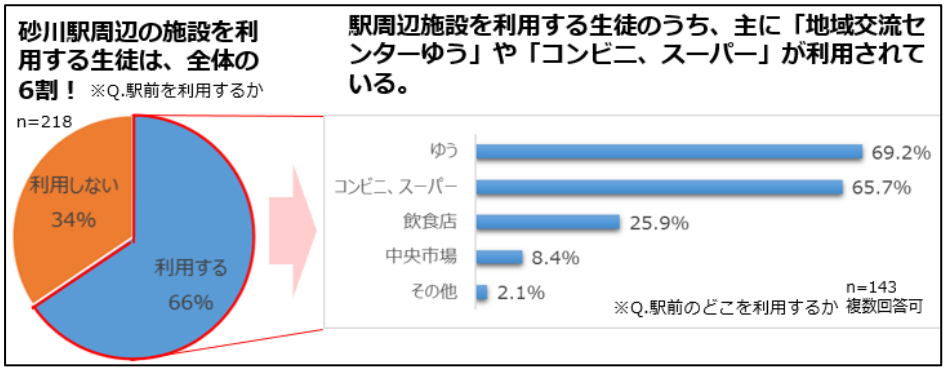
図：中心市街地を訪れる理由



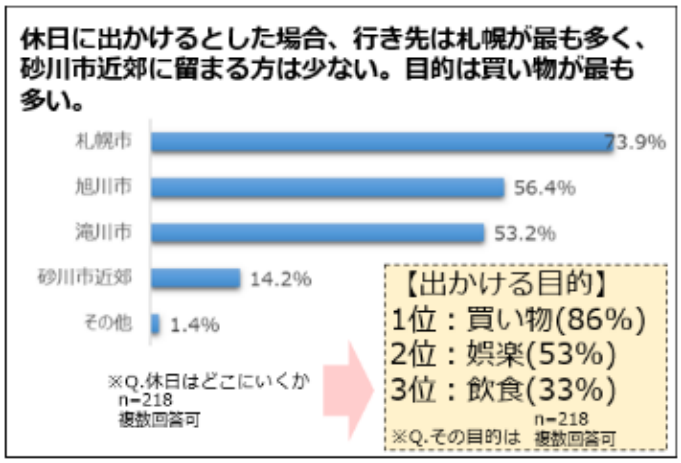
図：中心市街地の活性化に必要なもの

（４） 砂川高校生アンケート

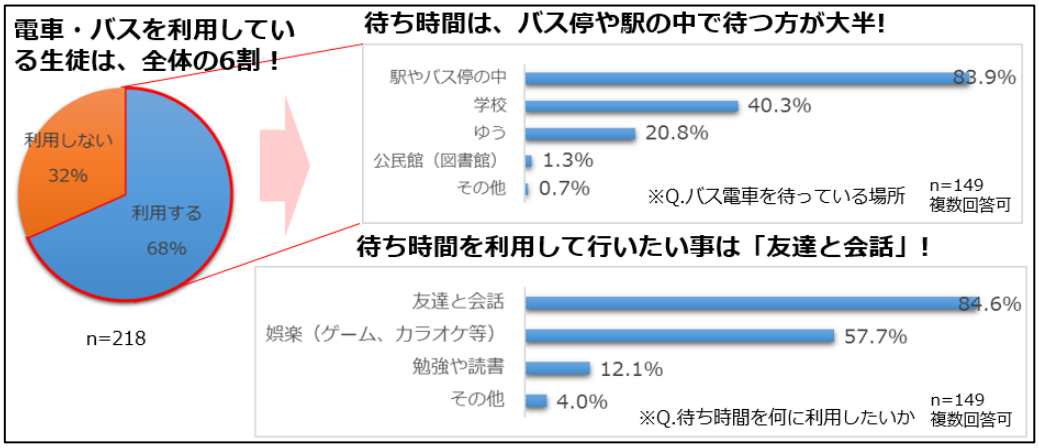
砂川高校の授業における「砂川市駅前再開発に関する砂川高校全校生徒アンケート（２年次理科課題研究）」において、全校生徒アンケートが実施され、その結果を踏まえ、「放課後や休日にふらっと立ち寄れるような施設が増えれば、今よりもっと時間を有意義に過ごす事ができる」という考察がなされました。



図：駅前利用者とその目的



図：休日の過ごし方

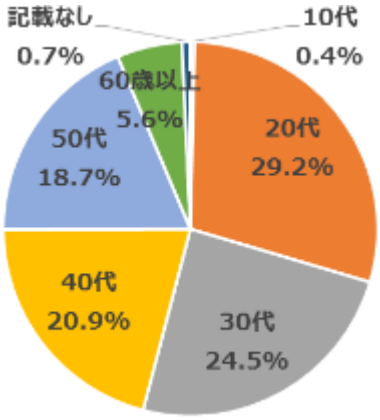


図：電車・バスを利用している生徒と、待ち時間を利用して行いたいこと

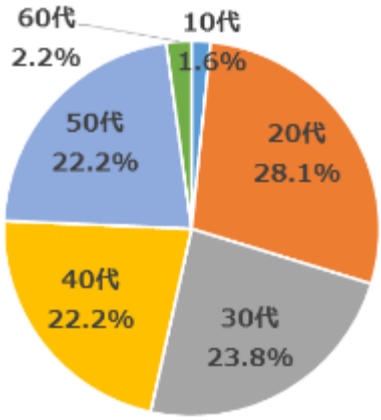
（５） 職員アンケート

市内事業所のうち職員数が市内トップであり、駅前周辺に位置する市立病院職員の中心市街地への行動や、駅前周辺にどのような施設整備・機能を求めているかを把握することを目的に、市役所職員と合わせてアンケートを実施しました。調査概要は次のとおりです。

項目	内容
対象	【市立病院】　臨時・嘱託を含んだ 996 名 【市役所】　臨時・嘱託は除いた課長職相当以下の職員 194 名
配布・回収	【市立病院】　配布数：996 通、回収数：551 通、回収率：55.3% 【市役所】　配布数：194 名、回収数：185 名、回収率：95.4%
実施日	令和元年 7 月 17 日（水）　～7 月 31 日（水）
アンケート内容	【共通】 回答者の属性／現在、通勤や業務以外で砂川駅前周辺に行く主な目的 【市役所】賑わい創出にあたって、旧パーラーグランド跡地周辺にあったら有効だと思う施設・設備とその理由(自由記載) 【市立病院】駅前周辺にあったら利用したいと思う施設(選択式)と具体的意見(自由記載)



【市立病院】

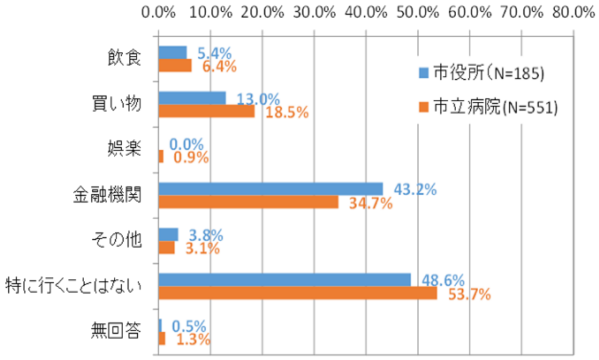


【市役所】

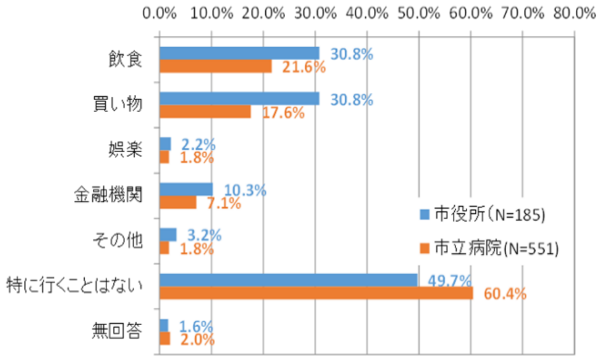
回答者の属性

市立病院及び市役所職員を対象とした「通勤や業務以外で砂川駅前周辺に行く目的について」という設問については、平日昼間は金融機関、平日夜間は飲食、休日昼間は買い物、休日夜間は飲食を目的としている人が比較的多いですが、「とくに行くことはない」と回答した人が最も多いという結果でした。

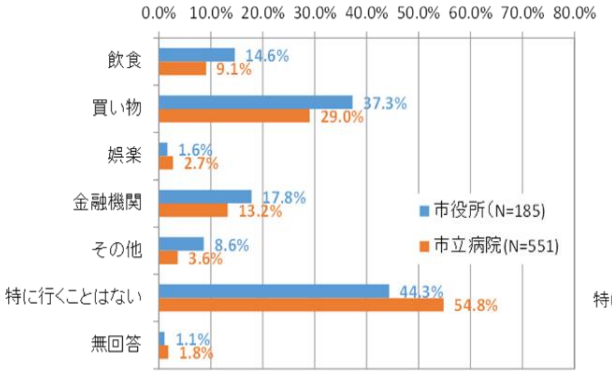
また、市立病院職員を対象とした「駅前周辺にあったら利用したいと思う施設は何か」という設問については、通勤で平日は毎日駅前を訪れているため、通勤時や昼休みに利用できる飲食店を望む声が最も多いという結果が得られました。その他、買い物やスポーツができる施設等を望む声もありました。



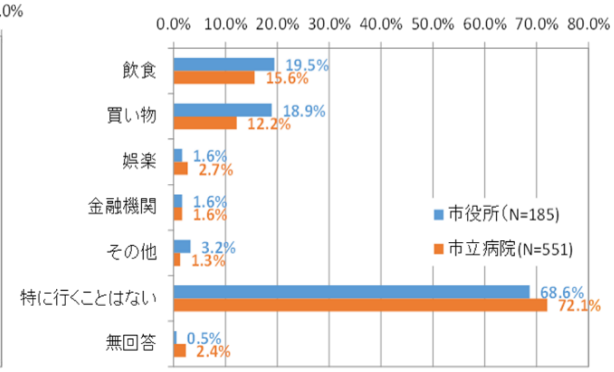
平日昼間に砂川駅前周辺に行く目的



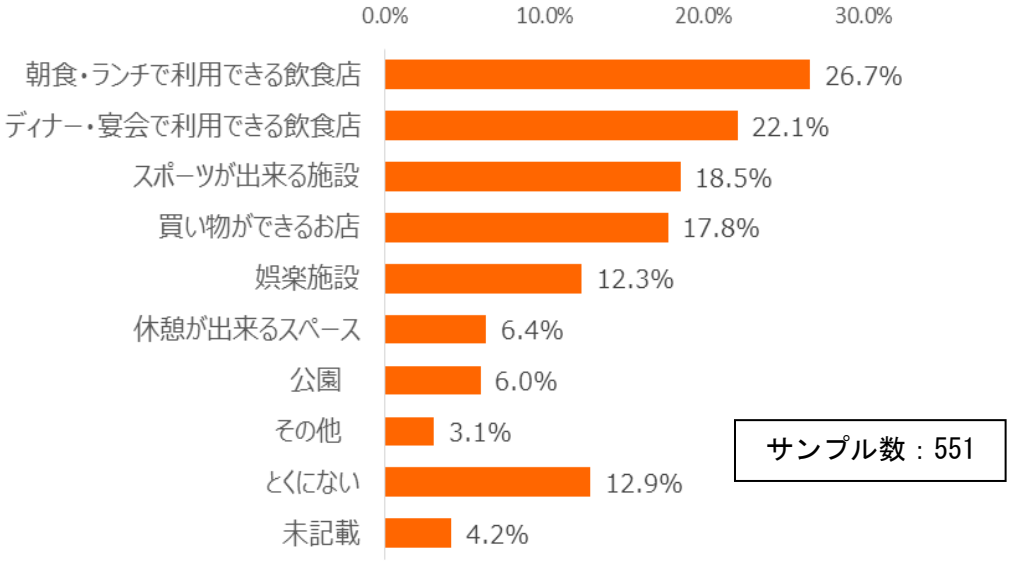
平日夜間に砂川駅前周辺に行く目的



休日昼間に砂川駅前周辺に行く目的



休日夜間に砂川駅前周辺に行く目的



駅前周辺にあったら利用したいと思う施設は何か（市立病院職員）

（６） 課題及び市民ニーズの整理と整備方針(基本的方向性)へのキーワード

【外部環境】

人口減少・少子高齢化 → 人口減少を前提とする

消費者嗜好や消費行動の変化 → 市場環境変化に対応できるようにする

【内部環境】

商店街における商店主の高齢化、後継者不足 → 駅前地区に位置する商店街を訪れる新たな意味を作る必要がある

広場／フリースペース
- 居場所づくり、ふれあい
- 繋がり、おしゃれ感
- 子どもが遊べるスペース
- 運動ジム(健康寿命)

情報発信
- 大型スクリーン
- ラジオ局のサテライトスタジオ
- 市民向けも観光客向けも

飲食店舗
- 普段使い
- 気軽さ

物販店舗
- 砂川を深く知って欲しい。
- 市民、観光客も楽しめる

はたらく場
- 仕事で気軽に使える
- 商工会議所での起業相談

【市民ニーズ】

◎市民WSより
- バスやJRの待合い、友人とのおしゃべりや待ち合わせなど自由に使える空間・カフェ
- 季節や天候に関係なく小さい子どもたちが遊べる屋内空間
- マルシェやイベント、ライブなど多様に使える屋外広場
- 地域のイベント等の市民向け情報や災害情報を提供する情報発信施設
- 砂川名物を食べられたり、日替わりメニューなどもあるレストラン・カフェ
- 仕事の前後や買い物の合間に気軽に入れて、仕事や勉強、読書ができるカフェ
- スイートロードの商品が一堂に集まり、各店舗へも波及するアンテナショップ
- まちなかで仕事や打合せができるワークスペースやオフィス空間
- 砂川にゆっくり滞在し、まちなかの魅力を知ってもらうための宿泊施設

◎市民アンケート
- 買い物の合間に利用できる休憩場所や飲食業の充実

◎高校生アンケート
- 放課後や休日にふらっと立ち寄れるような施設であれば、時間を有意義に過ごす事ができる
- 電車やバスの待ち時間を利用して行いたい「友人とのコミュニケーション」

◎経済団体からの提言書
- まち・ひと・活動をつなぐ複合施設
- 公共・公益機関の集約と連携
- 多くの市民、観光客が気軽に立ち寄れる施設の利便性を高める機能の設置

◎職員アンケート
- 通勤や昼休み時に利用できる飲食店
- スポーツができる施設
- 買い物ができるお店

「商店街の活性化と中心市街地のにぎわい」についての市民満足度は最下位(市民から求められている)※市民アンケートより

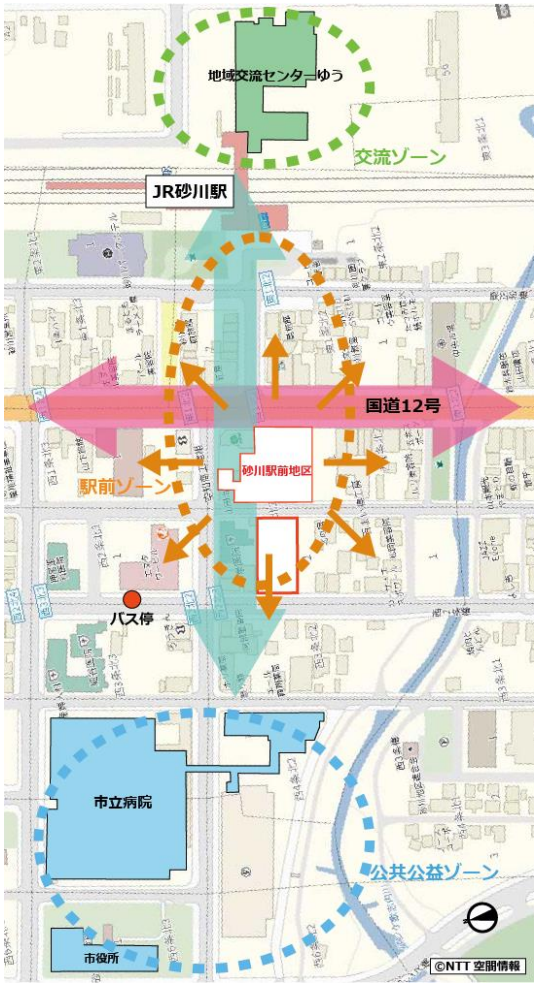
第4章 砂川駅前地区の整備方針

（１） 駅前地区整備の基本的な方向性

市民ワークショップや市民アンケート等による課題及び市民ニーズの整理結果を踏まえ、砂川市民からは公共公益サービスの享受や市民活動、JR やバスでの移動の前後でほっと一息ついたり、家族や友人と待合せをしたりする場所、自宅や職場・学校以外の第三の居場所（サードプレイス）が求められています。

また、市外の方にとっては、駅前地区は砂川市内での体験や新たな発見をしていただくための玄関口として、新たな砂川の魅力と出会う場所にもなります。

現在、交流ゾーンに位置する「地域交流センターゆう」は、子どもを中心とする世代間交流及び芸術文化活動を促進し、賑わいを創出するという目的で設置されています。本構想における施設整備の目的と賑わい創出の点で共通し、本施設も地域交流センターゆうとの連携により、周辺商業圏へ人や消費を波及させることも可能です。



図：駅周辺のコンセプト図

そこで、当地区における施設整備のコンセプトを以下のように設定します。

『賑わいと魅力を生むまちの居場所』

このコンセプトを達成するため、以下のとおり３つの方向性を定めます。

1. 日々の生活に潤いを与える市民のための“居場所づくり”

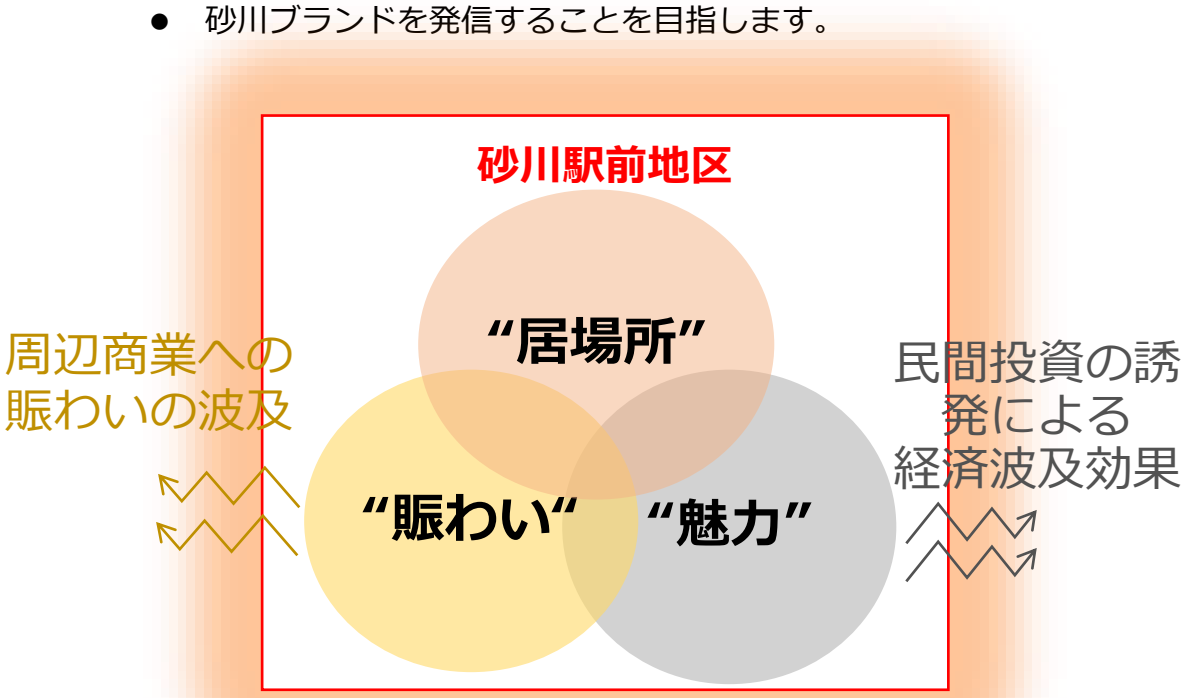
- 自宅と目的地との往復の間に寄りたくなるような、“第三の居場所”を提供することを目指します。
- 様々な機能を複合させることにより、多くの人にとって居心地の良い空間を提供することを目指します。

2. まちなかを訪れる“賑わいづくり”

- 賑わい創出に寄与するような機能の誘致を目指します。
- まちなかの回遊性を高めることを目指します。

3. 人々を呼び込む“まちの魅力づくり”

- まちなかに新たな魅力を創出し、市外からの来街者を呼び込むことを目指します。
- 砂川ブランドを発信することを目指します。



基本コンセプトイメージ

1．日々の生活に潤いを与える市民のための“居場所づくり”

市民をはじめ、来街者が滞在・交流することを目指し、屋外、屋内またはその両方にまたがった位置に一定の広がりを持った滞留空間を形成します。

高校生や高齢者は JR やバス、市立病院の待ち時間、就業者は通勤前後の時間や昼の休憩時間、子育てをする親は日中の時間等、日常生活に点在する余暇の時間を有意義に過ごすことのできる、自宅と職場・学校以外の“第三の居場所”を提供することを目指します。

また、活用にあたっては、平日の利用と休日の利用を意識し、平日は日常的な市民の憩いの場としての利用を想定し、休日はマルシェ等のイベント開催を想定します。

施設整備にあたっては、”居場所づくり”をコンセプトに、広場やフリースペース、飲食店舗、はたらく場といった機能によって、居心地や快適性を重視した施設を目指します。

【利用シーンの例】

想定利用シーン	具体的用途イメージ
・通勤時間の休憩 ・周辺の就業者のランチ休憩 ・バスや JR、病院待ち時間の休憩、会話 ・下校後の学生や退勤後の就業者の勉強や読書 ・学生や高齢者、子育て世代の友人との交流 ・フリーランサーの仕事や打合せ ・平日日中の子どもの遊び場 ・休日のイベント開催 ・スポーツイベント時のパブリックビューイング ・夜間の映画上映	・屋内広場 ・屋外広場 ・フリースペース ・カフェ ・コワーキングスペース

広場イメージ

フリースペースイメージ

2．まちなかを訪れる“賑わいづくり”

1.に掲げた“居場所づくり”と連携し、まちなかに賑わいと活気を創出します。

魅力ある機能の配置によって、市民がまちなかを訪れる機会を増やし、当地区を拠点にまちなかの回遊性を高め、中心市街地の活性化に寄与することを目指します。

施設整備にあたっては、”賑わいづくり”をコンセプトに、飲食店舗、物販店舗、はたらく場といった機能によって、日常的に多くの市民が気軽に利用できるようなしつらえとし、観光客をはじめとする来街者による利用も見込んだ施設とすることを目指します。

これらの機能導入にあたっては、民間事業者との連携が不可欠です。

【利用シーンの例】

想定利用シーン	具体的用途イメージ
・友人との交流 ・バスや JR の待ち時間の休憩 ・周辺の就業者のランチ利用 ・国道 12 号利用者の休憩 ・高齢者の運動不足解消 ・退勤後の就業者のフィットネス利用 ・お土産の販売 ・フリーランサーの仕事や打合せ ・観光客の休憩・情報収集 ・商工会議所への起業相談 ・観光協会へのイベント開催相談 ・金融機関利用者の休憩	・カフェ ・レストラン ・フィットネスジム ・アンテナショップ ・コワーキングスペース ・公益的機関

カフェイメージ

フィットネスクラブイメージ

３．人々を呼び込む“まちの魅力づくり”

砂川の魅力を内外に発信するための機能の導入を目指します。

市民向けに生活情報や商店街の情報、来街者向けにイベント情報や観光情報等を発信できる設備の設置を検討します。

また、”砂川ブランド”として本市の魅力を発信する役割も、賑わい創出には有効であることから、施設整備にあたっては、”まちの魅力づくり”をコンセプトに、情報発信、物販店舗といった機能によって、”砂川ブランド”を域外へ発信する事業者や観光資源との連携を検討します。

【利用シーンの例】

想定利用シーン	具体的用途イメージ
・観光情報の発信 ・生活情報の発信 ・イベント情報の発信 ・各店舗情報の発信 ・すながわスイートロード加盟店の商品販売 ・限定商品の販売 ・砂川ブランドを広める商品の販売 ・災害時の情報発信 ・PR 動画の上映 ・スポーツイベント時のパブリックビューイング ・夜間の映画上映	・大型ビジョン ・デジタルサイネージ ・ラジオ局のサテライトスタジオ ・チャレンジショップ ・アンテナショップ ・SuBACo による情報発信

デジタルサイネージ(電子看板)イメージ

アンテナショップイメージ

第5章 事業化の方向性と今後のスケジュール等

（１） 事業手法の検討

砂川駅前地区整備における事業手法としては、公設公営、公設民営、民設民営（PFI・単独事業）等の様々な方法が考えられます。

図：施設整備と管理運営の方法の比較

	公設公営	公設民営	民設民営(PFI)	民設民営
概念図				
概要	・公共事業として市が施設整備を行う。 ・公共施設として市が施設運営を行う。 ・建設費用負担は、すべて市。	・公共事業として市が施設整備を行う。 ・指定管理者制度により民間に施設運営を委託する。 ・建設費用負担は、すべて市。	・市が指定した条件下で民間が施設整備を行う。 ・整備後は、民間が施設運営を行う。 ・建設費用負担は一時的に民間であるが、最終的には市が負担。	・民間が施設整備を行う。 ・整備後は、民間が施設運営を行う。 ・建設費用、管理費用負担は、すべて民間。補助金方式の場合、市が一部負担。
メリット	・利用者にとっては、安定感・公平感がある。	・施設運営に民間のノウハウを活用することで、市民ニーズにある程度対応しやすい。	・施設運営に民間のノウハウを活用することで、市民ニーズにある程度対応しやすい。 ・市の財政負担を平準化することができる。	・施設運営に民間のノウハウを活用することで、市民ニーズに対応しやすい。 ・自由度が高いため、市場環境変化にも対応しやすい。 ・市の財政負担は抑えられる。
課題	・公共施設として整備するため、運営上の自由度は低い。 ・建設時の事業費が大きく、また、直営によるコストもかかり、今後長期間に亘る市の財政負担が発生する。	・公共施設として整備するため、運営上の自由度は低い。 ・設置主体である市と協議が必要な場面もあり、市民ニーズに対する対応は遅れることもある。 ・建設時の事業費が大きく、また、指定管理によるコストが発生する可能性がある。	・公共施設として整備するため、運営上の自由度は低い。 ・建設時の事業費が大きく、また、直営によるコストもかかり、長期間に亘る市の財政負担が発生する。	・意欲及びノウハウがある民間事業者の参画が必要。

（２） 基本構想実現に向けたスケジュール

基本構想実現までの想定スケジュールは以下の通りです。

ただし、下記のスケジュールは現時点での想定であり、事業手法や関係者の調整状況により、スケジュールは変更となる可能性があります。

＜想定事業スケジュール＞

2019 年度（令和元年度）　基本構想策定

2020 年度（令和２年度）　基本計画策定（施設規模、用途等確定）

2021 年度（令和３年度）　基本・実施設計

2022 年度（令和４年度）　既存建物除却工事、新築工事着工

2023 年度（令和５年度）　竣工・事業完了